

校長便り 怒濤 高

県立糸満高校

平成28年10月12日(火)

校長 辻上弘子

第 11 号

10月9日(日) 体育祭 この感動を表現する術を持ってはいない

とにかく「百聞は一見にしかず」そのままでございました。楽しくも厳しい練習に裏打ちされた本番は見事でした。台風や雨続きで決して十分な準備時間があったとは言えませんが、生徒たちは実によく頑張ってくれました。当日の天気予報をも覆し、良すぎるくらいの晴天を手繰り寄せた生徒・職員の想い。地域の皆さまも大勢お越し下さいました。全女子のエイサー、全男子の糸満の四季等の集団演技を、少しでも良い場所で参観頂きたく、午後から校舎を開放致しました。初めての試みで少々不安もありましたが、安全マナーへのご理解とご協力を有り難うございました。2～4階から運動場全体を見渡しての撮影は記念に残るとのお声かけも頂きました。後夜祭も生徒会が皆を引っ張り、一致団結できるノリよさとエネルギーを爆発させ、時間通りに終了させておりました。皆さま方の応援を、心より感謝申し上げます。有り難うございました。

糸満が一番！ いっそうの文武両道を めざして

体育祭準備と並行しながら、着々と進んでいたのが進路関係の歩みでございます。個別小論文講座、国公立大推薦志願者選抜委員会、実力テスト分析会、テスト勉強応援ウィーク等がスタート致しました。体育祭終了のその場で間髪を入れず、体育科職員が全生徒にその頑張りを評価し「切り替えが大事だよ。」と話をしております。ここそこの「これからですね。いま体育祭で盛り上がって1つになっているから、次にどこへ向かうかが大事となりますね。」「文武両道の武はできていると思う。後は今こそ文を。南部では糸満だね と言わせたいですよ。」との職員の声が聞こえます。この素直で素晴らしい生徒らの希望を叶えてやらねば、と熱き教師集団の静かで力強い決意が充満の本校でございます。どうぞ、一層のお子様への激励をお願い致します。